

STIHL®

STIHL FS 38

取扱説明書



目次

はじめに	2
使用上の注意および作業方法	2
組み合わせ可能なカッティング ア タッチメント、デフレクター、ハ ンドルおよびハーネス	10
ループ ハンドルの取り付け	11
デフレクターの取付け	12
カッティング アタッチメントの取 付け	12
燃料	15
給油	16
エンジンの始動と停止	17
作業中の注意事項	19
エアーフィルターの掃除	19
キャブレターの調整	20
スパーク プラグ	22
エンジンの動作	23
機械の保管	23
カッティング ヘッドの保守	23
スチール販売店による点検と保守	27
整備表	28
磨耗の低減と損傷の回避	30
主要構成部品	31
技術仕様	32
整備と修理	33
廃棄	33
EC 適合証明書	33

お客様各位

この度は STIHL 社の製品をお買上げい
ただきまして誠に有難うございます。

この製品は、最新の製造技術と入念な
品質保証処置を施して製造されまし
た。私共は、お客様がこの製品を支障
なく使用され、その性能に満足してい
ただくために最善の努力を尽くす所存
でおります。

ご使用の製品に関して御質問があり
の際は、お買上げの販売店あるいは直
接当社カスタマー サービスにお問い合
わせください。

敬具



ニコラス・スチール博士

STIHL®

この取扱説明書は、著作権によって保護されています。全権留保。特に複製、翻訳および電子システムを使用した処理に対
して保護されています。

はじめに

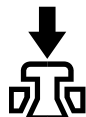
シンボルマークについて

機械に表示されているシンボルマークの意味は、本取扱説明書に説明されています。

対象の機種によっては、以下のシンボルマークが機械に表示されている場合があります。



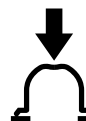
燃料タンク、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料



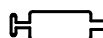
デコンプレッサーバルブの操作



手動燃料ポンプ



手動燃料ポンプの操作



グリースチューブ



インテークエアー：夏季作業



インテークエアー：冬季作業



ハンドルヒーター

段落の前に付いたシンボルや数字



警告

人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。



注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

このため、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

使用上の注意および作業方法



カッティングアタッチメントが非常に高速で回転しますので、刈払機での作業時には、人身事故の危険を低減するために、特別な安全措置が必要です。



初めて使用するときは取扱説明書をよく読んで理解し、必要なときに見られるよう安全な場所に確実に保管してください。取扱説明書を順守しないと生命を脅かすようなケガを負いやすくなります。

現地の安全規制、基準、条例を遵守してください。

本機で初めて仕事をする人は：STIHL サービス店または経験豊富なユーザーに機械の操作方法を教えてもらうか、その専門的な研修に参加してください。

未成年者はパワーツールを使用しないでください。

作業場所に見物人、特に子供や動物を近づけないでください。

パワーツールを使用しない時は、他人に危険が及ばないように、スイッチを切ってください。無断で使用されないように、安全に保管してください。

他者およびその所有物に対して生じた事故または危険に関しては、その一切の責任をユーザーが負います。

パワーツールを貸したり譲渡したりする場合は、取扱説明書を一緒に手渡してください。本機の利用者が取扱説明書の記載事項に精通していることを確認します。

騒音を発するパワーツールの使用が、国や地域の規則によって規制されている場合があります。

パワーツールで作業する人は、十分に休息をとり、身体的・精神的に健康でなければなりません。

激しい労働に耐えられない体調の方は、パワーツールの使用前にかかりつけの医師に相談してください。

ペースメーカーを付けている方にのみ該当する注意点：本パワーツールのイグニッションシステムは、微量の電磁界を発生します。この電磁界がペースメーカーに干渉する場合があります。当社では、ペースメーカーを使用している方は健康上のリスクを低減するため、かかりつけの医師やペースメーカーの製造業者に相談されることをお勧めします。

アルコールや薬品などを服用した状態では、パワーツールを使用しないでください。視力が低下し、動作や判断が鈍くなる可能性があります。

お使いの刈払機は、装備されているカッティングアタッチメントに適した草、雑草、および類似するものの切断にのみ使用してください。

これ以外の目的には使用しないでください。事故の発生や機械の損傷の危険が増大します。非常に危険なので、パワーツールにはいかなる改造も加えないでください。事故の誘因となり本機を損傷する恐れがあります。

当社がこの刈払機への使用を明確に承認した、または同等の仕様に基づいたカッティングアタッチメントおよびアクセサリーだけを取り付けてください。これに関して不明な点がある場合は、STIHL サービス店へお問い合わせください。高品質のツールおよびアクセサリーのみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

当社は、STIHL 純正のツールとアクセサリーのご使用をお勧めします。これらは、お客様の製品およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

人身への傷害の危険性を増加させることがあるので、いかなる方法でも機械を改造しようとししないでください。STIHL は、承認されていないアタッチメントを使用した際の人的傷害および物的損害に対しては一切保証を行いません。

本機の清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、本機の部品を損傷する恐れがあります。

本パワーツールに取り付けられたデフレクターで、カッティングアタッチメントによる飛散物（石、ガラス、ワイヤなど）すべてからは、作業者を守れない場合があります。飛散物が作業者の方向に飛び、当たる恐れがあります。

衣服と装備

規定に沿った作業服と装備を身に付けてください。



衣服は、作業しやすく作業の妨げにならないことが必要です。作業用のコートではなく、身体にぴったりしたオーバーオールと上着を組み合わせた安全作業服を、着用してください。



枝、藪、機械の可動部などに引っかかる物を、身に付けしないでください。スカーフ、ネクタイ、装身具を身に付けしないでください。長い髪は後ろで束ね、引っかからないようにしてください（ヘアネット、帽子、ヘルメットに押し込むなど）。



靴底が滑らず、頑強な作りの靴を履いてください。



警告



目の負傷の危険性を低減するため、EN 166 基準に準拠したしっかりとフィットする安全眼鏡を着用してください。安全眼鏡が正しくフィットしていることを確認してください。

顔面シールドを着用し、正しくフィットしていることを確認してください。顔面シールドのみでは、適切な目の保護ができません。

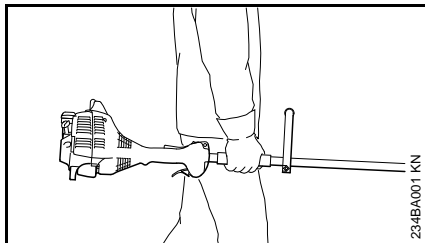
イヤープロテクターを着用してください。例えば防音用耳栓など。



耐性素材（革など）でできた、丈夫な保護手袋を着用してください。

STIHL では、作業者の防護のために各種の作業服や装備をご用意しています。

パワーツールの運搬



常にエンジンを停止します。

ドライブ チューブまたはループ ハンドルでバランスを取りながら、正しく運搬してください。

乗り物で運搬する時：パワーツールが倒れたり、燃料が流れ出たり、破損しないように、固定してください。

給油



ガソリンは非常に簡単に着火します。火気を避けてください。燃料をこぼさないでください - 喫煙しないでください。

給油前にエンジンを停止してください。

エンジンがまだ熱いうちは給油しないでください - 燃料が流れ出て火災を起こす危険があります。

燃料キャップは、燃料が吹き出さずに圧力がゆっくりと抜けるようゆっくり開けてください。

給油は風通しの良い場所で行ってください。燃料が本機にこぼれた場合は必ず拭き取ってください - 衣服に付いた場合は直ちに着替えてください。



給油の後は、燃料タンクのキャップをできるだけしっかりと閉めてください。

これにより、エンジンの振動によって燃料タンクキャップが緩んで燃料が漏れる危険を低減できます。

重傷または命にかかわる火傷を回避するため、燃料が漏れていないか注意してください。漏れている場合は修理するまでエンジンを始動しないでください。

始動前

パワー ツールが正しく組み立てられ、良好な状態になっているかチェックします - 本取扱説明書の関連項目を参照してください。

- 燃料システムに漏れがないか点検します。特にタンク キャップ、ホース接続部や手動燃料ポンプ（機械に取り付けられている）などの、目に見える部品を特に注意深く点

検します。漏れや損傷がある場合は、エンジンを始動しないでください - **火災の危険性があります**。再度使用する前に、機械の修理をサービス店に依頼してください

- 各機種に組み合わせが承認されているカッティング アタッチメント、デフレクター、ハンドルおよびハーネスのみを使用しているか。すべての部品は、適正にしっかりと組み立てられている必要があります。ケガの危険をできるだけ避けるため、決して金属カッティング アタッチメントを使用しないでください。
- スライドコントロール / ストップスイッチがスムーズに STOP または 0 位置に移動できるか。
- スロットルトリガー ロックアウト（装備されている場合）およびスロットルトリガーがスムーズに作動するか - スロットルトリガーは自動的にアイドル位置に戻らなければならない。
- スパーク プラグ ターミナルがしっかりと差し込まれているかチェックします - 緩んでいる場合は火花が発生することがあり、可燃性のガスに引火する可能性があります。
- カッティング アタッチメントが正しく取り付けられているか、状態が良好か点検します。
- 安全装置（カッティング アタッチメント用デフレクターなど）に損傷や磨耗がないか、点検してください。傷んだ部品は、必ず交換してください。デフレクターが損傷している機械を、絶対に使用しないでください。

- 操作部や安全装置に改造を加えないでください。
- パワーツールを安全に操作するため、ハンドルは乾いた清潔な（オイルや汚れのない）状態に保ちます。
- ハーネスとハンドルを自分の身長や手の長さに合うよう調整します。

事故の原因となりますので、損傷したり、正しく取り付けられていないパワーツールは使用しないでください。

肩掛けベルトまたはフルハーネスを使用する場合：非常時に備えて、パワーツールを外して地面に降ろす練習をしてください。この練習中に本機を地面に投げ下ろして損傷しないようにしてください。

エンジンの始動

給油した場所から少なくとも 3 m 離れて始動します。戸外に限ります。

機械を開けた場所の安定した地面に置いてください。バランスと安定した足場に配慮してください。機械をしっかりと持ちます。エンジン始動時にカッティング アタッチメントが作動する恐れがありますので、地面や障害物に触れないようにしてください。

パワーツールは一人で操作します。飛散物でケガしないように、作業範囲半径 15m 以内には第三者を入れないでください - 始動時にも厳守してください。



ケガの危険をできるだけ避けるために、カッティング アタッチメントに触れないでください。

エンジンの落としがけをしないでください - 取扱説明書に従って始動してください。



スロットルトリガーを放しても、カッティング アタッチメントは短時間作動し続けます - フライホイール効果によるものです。

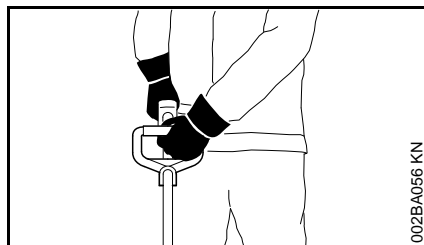
アイドリング回転の設定を確認します：カッティング アタッチメントは、エンジンがアイドリング回転でスロットルトリガーを放している時は、回転してはいけません。

着火しやすい材質（例えば、木屑、樹皮、乾燥した草、燃料など）は高温の排気の流れや熱いマフラー表面から遠ざけてください。火災の危険があります。

機械の保持と操作

必ず両手でパワーツールのハンドルをしっかりと保持します。

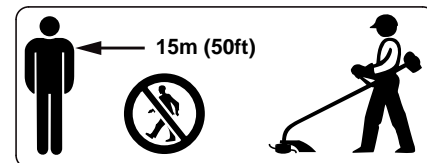
バランスと安定した足場を確保してください。



ループハンドルを左手で、コントロールハンドルを右手で握ります。左利きでも同様です。

作業中

差し迫った危険や緊急の場合、スライドコントロール / 停止スイッチを **STOP** または **0** に動かして、速やかにエンジンを停止します。



カッティング アタッチメントは物体を噛んで、遠くまで飛ばしてケガの原因となることがあります - このため、作業者の位置から半径 15 メートル以内に誰もいないことを確認します。また、**所有物を破損する危険を低減するため、他の機材（車両、窓など）からも上記の距離を保ってください。15 メートル以上の距離を保っても、危険性がなくなるわけではありません。**

スロットルトリガーを放した時にカッティング アタッチメントが確実に停止するためには、エンジンのアイドリング回転が正しい回転数であることが重要です。

定期的にアイドリング回転の設定を確認および修正してください。エンジンのアイドリング回転時にカッティング アタッチメントが回転し続ける場合、STIHL サービス店に点検を依頼してください。

滑りやすい状態に特に注意してください（氷、濡れた地面、雪、傾斜や凸凹のある地面）。

障害物に注意：木の根、溝、穴、ゴミなどつまずきそうな障害物に注意してください。

バランスと安定した足場を確保してください。

常に地面の上で作業して、はしご、作業台、その他の不安定なサポートの上で作業しないでください。

イヤープロテクターをつけている場合は、より大きな注意力が必要です。危険を告げる音、叫び声、警笛などが聞こえにくくなるからです。

事故が発生しやすくなりますので、疲労が蓄積しないように、適切な時期に休息をとってください。

日中で十分な視界のある場所で、冷静かつ思慮深く作業してください。他人に危険が及ばないよう作業します。



エンジン運転中は機械から有毒な排気ガスが出ます。このガスは、無臭で目に見えないことがあります。室内や換気状態の悪い場所では、絶対にエンジンをかけないでください。触媒コンバータが装着されている機種でも同様です。

溝、窪地、あるいは狭い場所で作業するときは、十分な換気に配慮してください。これにより、有毒ガスを吸引することによる重傷や致命的なケガを負う危険を低減できます。

事故の発生を防ぐために、気分が悪い、頭痛、視覚障害（視野狭窄など）、聴覚障害、めまい、注意散漫などの状態になった場合は、作業を即座に中止してください。他の可能性は別として、これらの症状は、作業場に過度に高濃度の排気ガスが存在する場合に、発生することがあります。

機械は最小限の音と排気ガスが出るように操作してください - 不必要にエンジンを始動せず、作業時のみエンジンを加速します。

火災の危険性がありますので、作業中及び機械の近くでは喫煙は避けてください。燃料システムから、発火しやすいガソリン蒸気が漏れている恐れがあることにご注意ください。

作業中に発生する塵埃、蒸気、煙は健康を害する恐れがあります。作業範囲に塵埃や煙が非常に多い場合、防塵マスクを着用してください。

パワーツールに強い衝撃が加わったり落下するなど、設計強度を超える異常な負荷がかかった場合は、パワーツールが良好な状態にあることを、作業を続ける前に必ず確認してください - 「始動前」の項も参照してください。

特に燃料システムに漏れがないことを確認し、安全装置が正しく機能していることを確認してください。お使いのパワーツールに損傷がある場合は、作業を続けしないでください。不明な場合は、STIHL サービス店にお問い合わせください。

始動スロットル位置でパワーツールを操作しないでください - この位置ではエンジン回転を制御できません。



飛散物によるケガの危険を低減するため、使用するカッティングアタッチメントの型式に合ったデフレクターなしでは、パワーツールを動作させないでください。



作業場所を点検してください。石、金属やその他の固形物が 15 メートル以上飛散して、**人身傷害を起こすこと**や、カッティングアタッチメントおよび他の機材（駐車中の自動車、窓）を損傷することがあります。

作業が困難で繁茂した場所で作業する場合は特に注意してください。

茂みや生垣の下を刈り込む場合：カッティングアタッチメントと地面の間隔を最低でも 15 cm 保持して、小動物に危害を与えないようにしてください。

パワーツールから離れる場合：エンジンを停止します。

作業中は定期的に短い時間間隔で、または切断動作に目立った変化が認められる場合は直ちに、カッティングアタッチメントを点検します：

- エンジンを停止し、機械をしっかり持って、カッティングアタッチメントを地面に押し付けて止めます。
- 状態、締め付け具合、クラックの有無を点検します。
- 表面上でもカッティングアタッチメントに亀裂が認められたら、即座に交換してください。

定期的に草木の切れ端を、カッティングアタッチメントの取り付け部から取り除いてください - カッティングアタッチメントとデフレクター上の蓄積物を取り除きます。

ケガの危険を回避するために、カッティングアタッチメントの交換前にエンジンを停止します。

損傷したあるいは亀裂の入ったカッティング アタッチメントに、溶接、真直ぐにする、曲げ直し（アンバランスになる）などの修理を行ったり、使用し続けたりしないでください。

カッティング アタッチメントの破片が飛散して、高速で作業員や第三者に当たり、**重傷あるいは死亡事故を招く原因となる場合があります。**

草刈ヘッドを使用する場合

ナイロンラインが承認されている長さに確実に自動的に調整されるように、適正にライン制限ブレードが取り付けられたデフレクターだけを使用します。

ケガの危険を低減するため、手動調整可能草刈ヘッドのナイロンラインを手動で調整する前に、必ずエンジンを停止してください。

長すぎるナイロン カッティング ライン付き機械の使用は、エンジンの作動速度を下げます。さらに、クラッチがいつまでもかみ合わず、その結果として重要なコンポーネント（クラッチ、ポリマーハウジングコンポーネントなど）を過熱して損傷します - また、エンジンのアイドルリング回転時にカッティングアタッチメントが作動することにより、**ケガの可能性が増加します。**

振動

チェンソーを長時間使用した場合には、振動の影響により手の血行不良が生じることがあります（「白ろう病」）。

以下をはじめ、多くの事柄が影響するため、一般的な使用時間の設定は不可能です。常に各国の安全規制、基準、条例をお守りください。

以下の対策をとると使用時間を延長できます：

- 手の防護（暖かい手袋）
- 休憩を取りながら作業する

以下の場合には使用時間を短くします：

- 血行不良の特殊体質（症状：指が頻繁に冷たくなる、指が疼く）。
- 低い外気温。
- ハンドルを握む力の強さ（握む力が強いと血行が低下します）。

機械を日常的に長時間使用したり、該当する症状（指のしびれ等）が繰り返し発症する時は、医師による診断をお勧めします。上記のいずれかの症状が現れたら（指が疼くなど）、医師にご相談ください。

整備と修理

定期的に本機を整備してください。取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業は STIHL サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けた STIHL サービス店のみに依頼されることをお勧めします。STIHL サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して不明な点がある場合は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

当社では STIHL 純正の交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

ケガの危険を回避するため、本機の保守、修理、または掃除を実行する前に、**エンジンを必ず切ってください。**
- 例外：キャブレターおよびアイドルリング回転数の調整時は例外です。

スパークプラグターミナルまたはスパークプラグを外した状態でスターターを操作する場合は、スライドコントロール/停止スイッチを **STOP** または **0** の位置にしてください。火花が飛んで**火災を起こす危険**があります。

火災の危険性を回避するため、火気の近くで修理したり、保管したりしないでください。

燃料フィルター キャップにもれがないか定期的に点検してください。

当社で承認されたタイプで、支障なく作動するスパークプラグだけを使用してください。（「技術仕様」の項を参照）

イグニッション ケーブルに異常がないこと（良好な絶縁状態、接続の確実性）を確認してください。

マフラーに異常が無いことを確認してください。

火災の危険や聴覚障害を避けるために、破損したマフラーを取付けたまま、あるいはマフラーがないまま作業しないでください。-

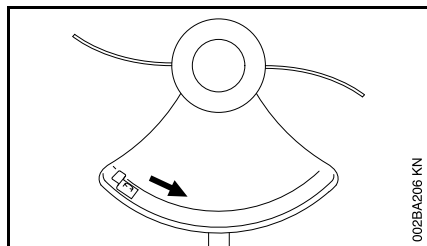
高温のマフラーに触れて、**火傷**しないようにしてください。

カッティング アタッチメントおよびデフレクター

安全上の理由から、機種固有の取扱説明書で承認されているカッティング アタッチメント、デフレクター、ハンドルおよび肩掛けベルトの組み合わせのみを使用してください。

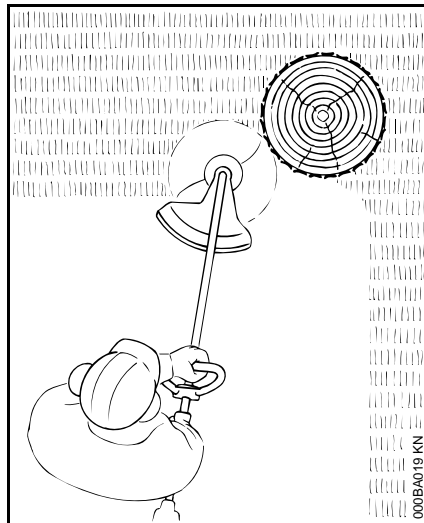
カッティング ヘッドは、カーブ ドライブ チューブおよびループ ハンドル付き刈払機のみで使用できます。

デフレクター上の記号



矢印は、カッティング アタッチメントの回転方向を示しています。

ナイロンラインを装備したカッティングヘッド



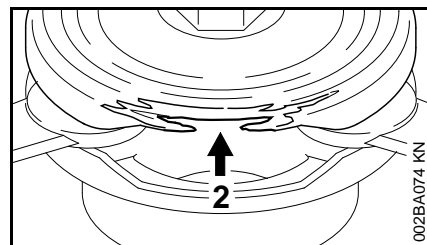
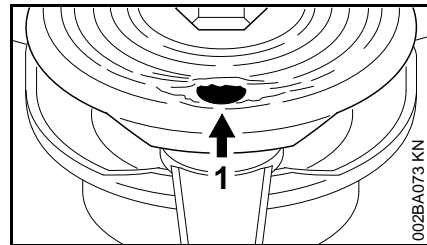
ナイロンラインにより、フェンス柵や木などの周囲の縁取りやトリミングをきれいにソフトにカットできます - 樹皮はほとんど傷付きません。



警告

ケガの危険を低減するために、決してナイロンラインの代わりに金属製ワイヤーを使用しないでください。

ポリマー ブレード付き STIHL PolyCut 6-3 カッティング ヘッド



牧草の茂った草木の刈り込み用 (生垣、フェンス、木々などの障害物がない場合)

PolyCut カッティングヘッドの整備に関する注意事項を遵守してください。

磨耗限度マークに注意してください！

磨耗限度マークは PolyCut のベースに記載されています。

PolyCut 6-3 の使用停止基準は、円形の穴の1つ (1、矢印) が目視できるようになるか、突き出た縁 (2、矢印) が磨耗したときです。新しいカッティングヘッドを取り付けます。



警告

磨耗限度マークを無視すると、カッティングールが粉々に破損して、作業者や見物者の方向に飛散する危険があります。

飛散するブレードでケガする事故の危険を低減するために、石、金属などの硬質の物質に触れないようにします。

PolyCut ブレードに亀裂がないことを定期的に点検します。ブレードのうち1個に亀裂が認められたら、かならず**すべてのブレード**を交換します。

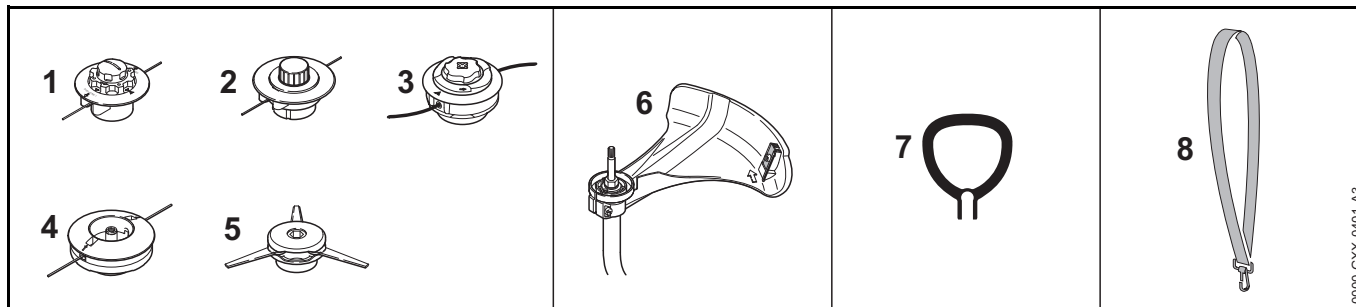
組み合わせ可能なカッティング アタッチメント、デフレクター、ハンドルおよびハーネス

カッティングアタッチメント

デフレクター

ハンドル

ハーネス



承認された組み合わせ

使用するカッティングアタッチメントに合わせて、表から適切な組み合わせを選択してください。



警告

安全上の理由で、これ以外の組み合わせは許可されていません - **事故が発生するおそれがあります。**

カッティングアタッチメント

デフレクター

6 ブレード付きデフレクター、草刈ヘッド用

ハンドル

7 ループハンドル

肩掛けベルト

8 肩掛けベルトの使用可能

草刈ヘッド

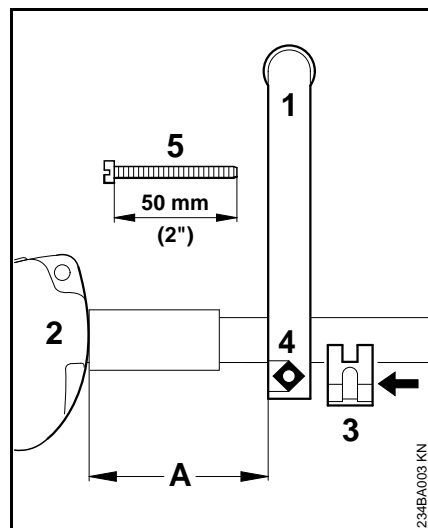
- 1 STIHL オートカット C 5-2
- 2 STIHL オートカット 5-2
- 3 STIHL オートカット C 6-2
- 4 STIHL デュロカット 5-2
- 5 STIHL ポリカット 6-3

ループ ハンドルの取り付け

ループ ハンドルは、2つの異なったバージョンで提供されます。

バージョン A

ループ ハンドルの取り付け



- ループ ハンドル (1) を、コントロールハンドル (2) の前方、約 15 cm (6 インチ) (A) の位置で、ドライブチューブに取り付けます。
- クランプ (3) をドライブチューブに合わせ、ループハンドルに押し込みます。
- 四角ナット (4) をループハンドルに取り付けます。
- 反対側からスクリュー (5) を差し込み、しっかりと締め付けます。

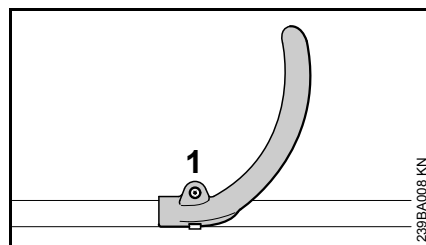
ループ ハンドルをもっとも快適な位置に調整します。

- スクリュー (5) を緩めます。
- 必要に応じて、ループハンドルをドライブチューブに沿って移動させます。
- スクリュー (5) をしっかりと締め付けます。

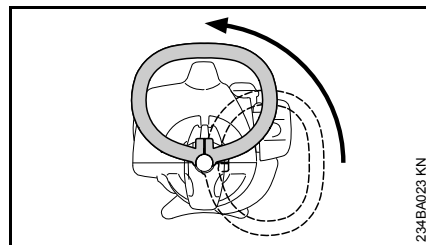
バージョン B

新しいパワーツールは、ドライブチューブにループハンドルを取り付けた状態で工場から出荷されますが、お使いになる要件を満たすように、位置を調整する必要があります。

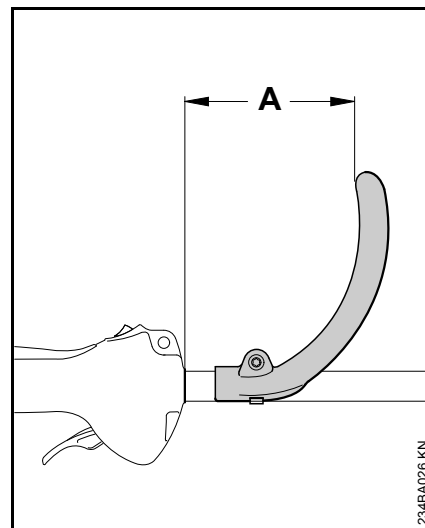
ループハンドルの位置を調整します。



- コンビネーションレンチを使用してスクリュー (1) を緩めます。



- ハンドルを垂直位置に回します。

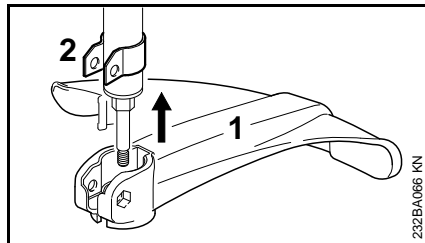


作業者の身長と手の長さ、および用途に応じて距離 (A) を変更して、ループハンドルを調整できます。

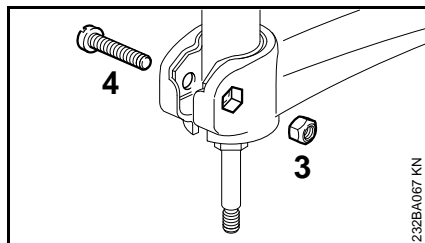
アドバイス：距離 (A)：約 15 cm (6 インチ)

- ハンドルを必要な位置にずらしません。
- ハンドルがドライブチューブ上で回転しないように、コンビネーションレンチでスクリューを締め付けます。

デフレクターの取付け



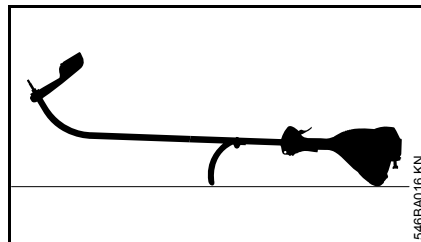
- デフレクター (1) をクランプ (2) に止まるまで押し込みます。



- ナット (3) をデフレクターの六角溝に差し込みます - 穴を確実に揃えます。
- スクリュー (4) を差し込み、しっかりと締め付けます。

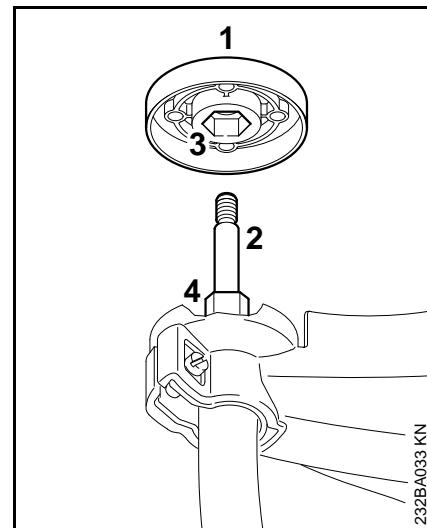
カッティング アタッチメントの取付け

パワーツールを地面に置く



- エンジンを停止してください。
- ループ ハンドルを下側に、シュラウドを下方向に向けて、出力シャフトを上方向に向けて、刈払機を置きます。

スラストプレート



スラストプレート (1) は、デュロカット 5-2 とポリカット 6-3 に同梱されています。スラストプレートはこれらの草刈ヘッドにのみ必要です。

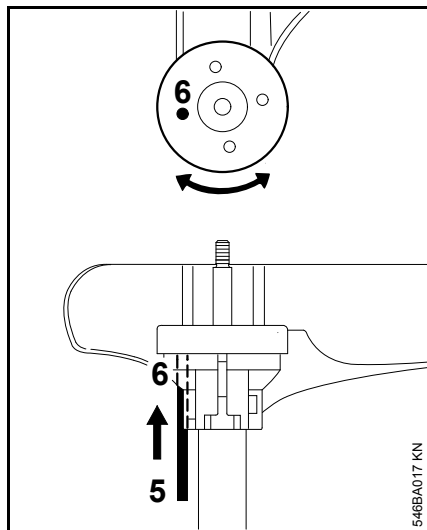
STIHL オートカット 5-2 草刈ヘッド、STIHL オートカット C 5-2 草刈ヘッド

- 取り付けられている場合は、スラストプレート (1) をシャフト (2) から引き抜きます。

STIHL デュロカット 5-2 草刈ヘッド、STIHL ポリカット 6-3 草刈ヘッド

- スラストプレート (1) をシャフト (2) に差し込み、外部六角形 (4) を六角溝 (3) にかみ合わせます。

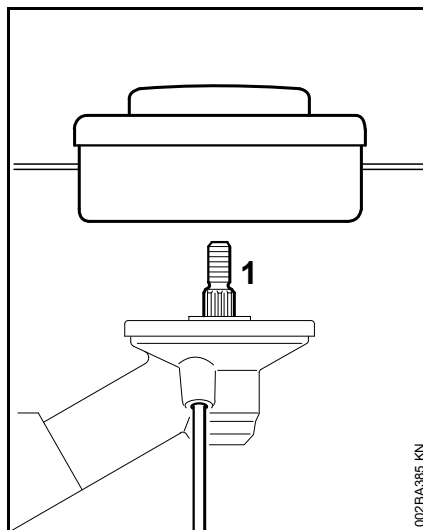
シャフトの固定



- シャフトを固定するために、適切な工具 (5) をデフレクターとスラストプレートの穴 (6) に挿入します - 必要に応じてスラストプレートを左右に回します。

スクリュー取付部付き草刈ヘッドの取り付け

草刈ヘッドの取扱説明書を、安全な場所に保管してください。



- 草刈ヘッドを、シャフト (1) 上で反時計回りに止まるまでねじ込みます。
- シャフトの固定
- 草刈ヘッドをしっかり締め付けます。



注記

シャフト固定用ツールを抜き取りま
す。

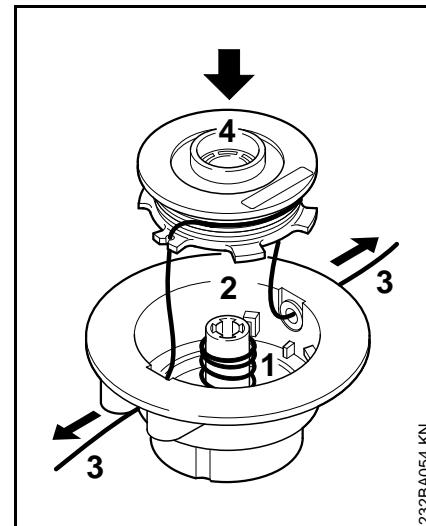
草刈ヘッドの取り外し

- シャフトの固定
- 草刈ヘッドを反時計回りに回して外します。

スクリュー装着部なしの草刈ヘッドの取り付け

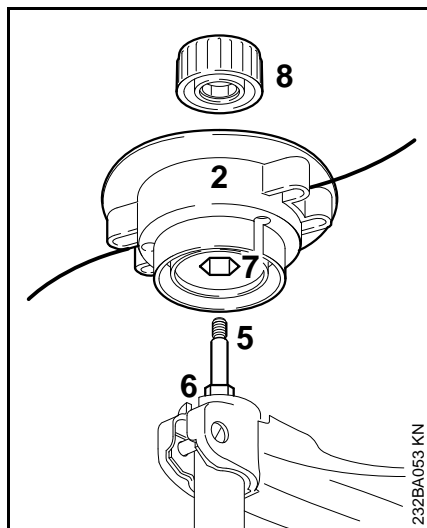
草刈ヘッドの取扱説明書は安全な場所に保管してください。

STIHL オートカット 5-2



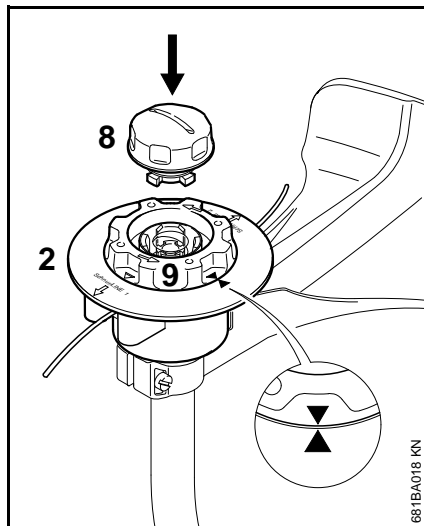
- 草刈ヘッド (2) にスプリング (1) を取り付けます。
- カuttingライン (3) をスプール (4) に巻きます。
- ナイロンラインをスリーブに通し、スプールをヘッドに取り付けます。

個々の手順は付属する取扱説明書に記載されています。



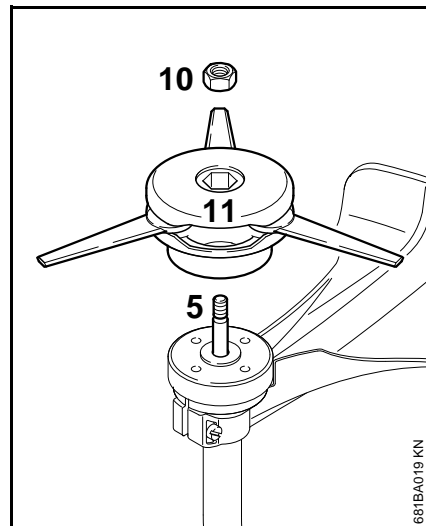
- 草刈ヘッド (2) をシャフト (5) に差し込み、外部六角形 (6) を六角溝 (7) にかみ合わせます。
- キャップ (8) を草刈ヘッドに取り付けます - 止まるまでシャフトに時計回りにねじ込み、しっかりと締め付けます。

STIHL オートカット C 5-2



- 草刈ヘッド (2) をシャフトに差し込みます - オートカット 5-2 と同様です。
- スプール (9) を時計回りに回転させ、両方の矢印の先端を合わせます - この位置でスプールを固定します。
- キャップ (8) をスプールに差し込み、止まるまで押し込みながら時計回りに回転させます。
- 抵抗が感じられるまでキャップを回し、手でしっかりと締め付けます。

STIHL ポリカット 6-3



- スラストプレートをシャフトに取り付けます。
- ナット (10) を草刈ヘッドに差し込みます。
- 草刈ヘッド (11) を止まるまでシャフト (5) に時計回りにねじ込みます。
- シャフトを固定します。
- 草刈ヘッドをしっかりと締め付けます。

警告

取り付けナットが緩くなりすぎた場合は、新しいナットに交換してください。

注記

シャフト固定用工具を抜き取ります。

草刈ヘッドの取り外し

STIHL オートカット

- 草刈ヘッドを確実に保持します。
- キャップを反時計方向に回転させます。

STIHL ポリカット

- シャフトを固定します。
- 草刈ヘッドを反時計回りに回転させて取り外します。

燃料

エンジンには、ガソリンと 2 サイクルエンジン用オイルの混合燃料が必要です。



警告

健康を害しますので、ガソリンに直接肌を触れたり、ガソリンの蒸気を吸い込まないようにしてください。

STIHL モトミックス (MotoMix)

当社は STIHL モトミックス (MotoMix) のご使用をお勧めします。この既製の混合燃料はベンゼンや鉛を含まず、高オクタン価で常時、適正な混合率を保ち、安心してご使用いただけます。

STIHL モトミックス (MotoMix) は、STIHL HP ウルトラ 2 サイクル エンジン オイルを使用しており、優れたエンジン長寿命が得られます。

STIHL モトミックス (MotoMix) が販売されていない市場もあります。

燃料の混合



注記

規定されている以外の不適切な燃料やオイル、または混合比率を使用されると、エンジンに重大な損傷を生じることがあります。低品質のガソリンあるいはエンジンオイルは、エンジン、オイルシール、燃料ホース、および燃料タンクを損傷することがあります。

ガソリン

無鉛と有鉛にかかわらず、最低オクタン価 90 の高品質 **ブランド** のガソリンだけを使用してください。

触媒コンバータを装備した機械には、必ず無鉛ガソリンを使用してください。



注記

鉛含有ガソリンを燃料タンク数回分使用した場合、触媒効果は大幅に低下します。

エタノール濃度が 10% 以上のガソリンは、手動調整可能キャブレター付きエンジンで、動作上の問題を引き起こすことがあります。そのようなエンジンには使用しないでください。

M トロニックを搭載しているエンジンは、エタノール濃度最大 25% までのガソリン (E25) で動作するときに、最大の出力を発揮します。

エンジン オイル

高品質の 2 サイクル エンジン オイルのみ、できれば、STIHL HP、HP スーパー、または HP ウルトラ エンジン オイルを使用します。これらは、STIHL エンジン用に特別に設計されています。HP ウルトラは、高い性能と長いエンジン寿命を保証します。

一部の市場では、これらのエンジン オイルを入手できません。

触媒コンバータを装備した機種で使用する混合燃料には、**STIHL 2 サイクル エンジン オイル 50:1** だけを使用してください。

混合比率

STIHL 50: 1 2 サイクル エンジンオイル
の場合：50:1 = ガソリン 50 + オイル 1

例

ガソリン	STIHL 2 サイクルオイル 50:1
リットル	リットル (ml)
1	0.02 (20)
5	0.10 (100)
10	0.20 (200)
15	0.30 (300)
20	0.40 (400)
25	0.50 (500)

- 燃料の保管には承認された容器を使用してください。燃料容器に先ずオイル、その後にガソリンを入れて、十分に混ぜ合わせます。

燃料の保管

燃料は、承認された安全タイプの燃料容器に入れて、乾燥した、涼しい、安全な、太陽や照明から保護された場所に保管してください。

混合燃料は時間の経過と共に劣化します - 数週間で使い切る分だけ混合してください。混合燃料を 30 日以上保管しないでください。照明や太陽の直射や過酷な高低温では、混合燃料の劣化が加速されます。

STIHL モトミックスは、問題なく最長 2 年間保管することができます。

- 給油する前に混合燃料の入った携行缶をよく振ってください。



警告

携行缶内で圧力が生じている可能性があるため、慎重に開けてください。

- 燃料タンクと携行缶は、時々十分に洗浄してください。

残ったガソリンと洗浄に使用した液体は、その地域の規定と環境要件に従って適切に処理してください。

給油



- 給油する前に、汚れがタンクの中に入るのを防ぐため、フィルターキャップとその周りをきれいにしてください。
- フィラーキャップが上を向くように機械を置きます。
- フィラーキャップを開きます。

給油の際には燃料をこぼしたり、あふれさせないでください。当社では STIHL フィラー ノズル (特殊アクセサリ) の使用をお勧めします。

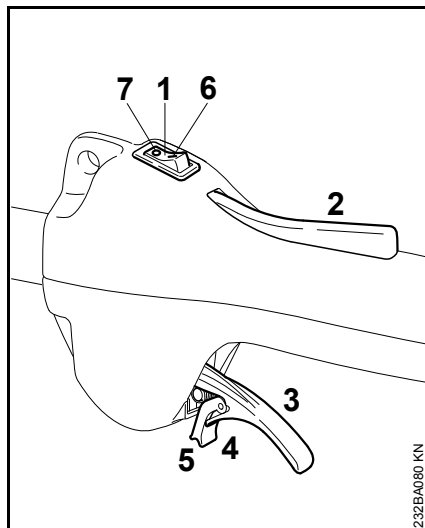


警告

給油の後は、フィルターキャップをできる限りしっかりと手で閉めてください。

エンジンの始動と停止

操作部

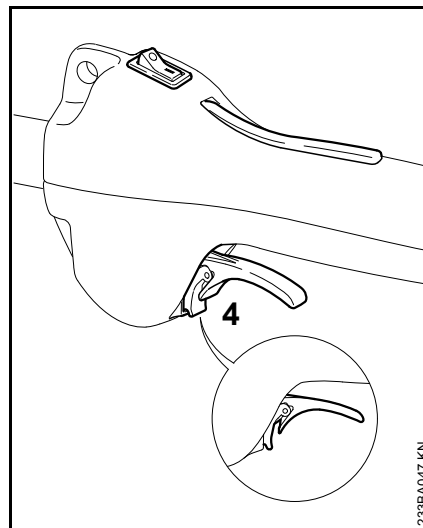


- 1 ストップスイッチ
- 2 スロットルトリガー ロックアウト
- 3 スロットルトリガー
- 4 スロットルトリガーのトンゲ
- 5 キャッチ

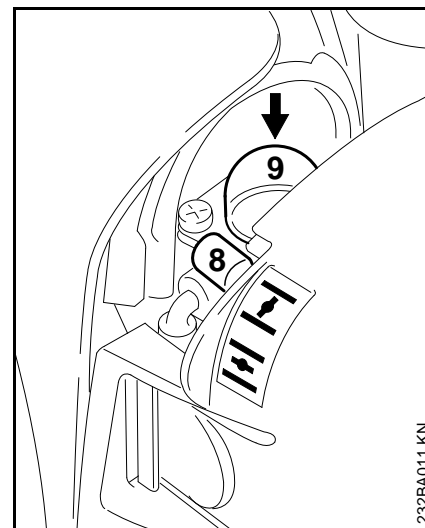
停止スイッチの位置

- 6 I - 通常運転の位置 - エンジン運転中または始動可能。
- 7 0Stop - エンジンが停止 - イグニッションがオフの状態。

始動



- ストップスイッチをIに移動します。
- スロットルトリガー インターロックを押し下げ、そこで保持します。
- トング(4)のキャッチがハウジング(矢印)とかみ合うまでスロットルトリガーを握ります。
- スロットルトリガー、トング、トリガー ロックアウトの順で放します。これが**始動スロットルの位置**です。



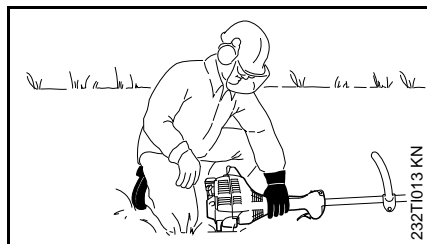
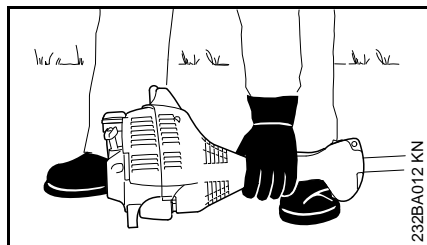
- チョークレバー(8)を次のようにセットします。

I エンジンが冷えている場合

三 暖機スタートの場合 - エンジンの始動後、温まりきっていない場合もこの位置を使用します。

- 手動燃料ポンプ(9)を最低5回押ししてください - ポンプに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。

始動操作



- 機械を地面に置きます：エンジンサポートとデフレクターを地面にしっかりと当てます。

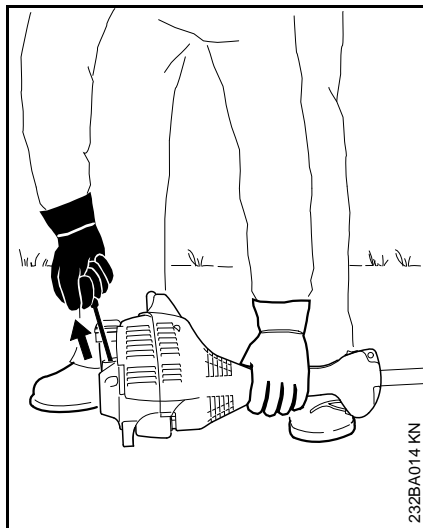
事故の発生を防ぐために、カッティングアタッチメントが地面あるいはその他の物体と接触していないことを確認します。

- 立つか、かがむか、ひざまずいて、安定した足場を確保します。
- 機械を左手で地面上にしっかり固定して、押し付けます - 親指をファンハウジング下方に向けて握ります - スロットルトリガーやトリガーロックアウトに触れないようにしてください。



注記

ドライブチューブに足を載せたりひざまずいたりしないでください。



- 右手でスターターグリップを握ります。
- スターターグリップをゆっくり引き、かみ合った感じがしたら、素早く勢い良くグリップを引っ張ります。

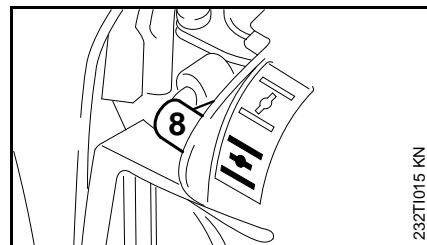



注記

スターターロープは最後まで引き出さないでください - 切れる恐れがあります。

- スターターグリップを急に放さないでください。手を添えてハウジングにゆっくりと巻き込むとスターターロープは正しく巻き込まれます。
- 始動操作を続けます。

エンジンが初爆したら



- 最高でも 5 回引っ張ったら、チョークレバー (8) を  に移動し、
- 始動操作を続けます。

エンジンがかかったらすぐに

- スロットルトリガーを握ってトングを解除します。エンジンがアイドリング回転数で安定します。



警告

キャブレターが適正に調整されていることを確認します。エンジンのアイドリング回転時に、カッティングアタッチメントが回転しないようにしてください。


これで機械の使用準備が完了しました。


エンジンの停止

- 停止スイッチを 0 に動かします。


エンジンがかからない場合

チョークレバー

エンジンが初爆した後すぐにチョークレバーを  の位置に動かさないと、燃焼室に燃料を吸い込みすぎてしまいます。

- チョークレバーを  にセットします。
- 停止スイッチを I に動かし、ロックアウトレバーおよびスロットルトリガーを始動スロットル位置に動かします。
- スターターロープを素早く引っ張って、エンジンを始動します - 10 回から 20 回必要なことがあります。

それでもエンジンがかからない場合

- 停止スイッチを 0 に動かしします。
- スパークプラグを取り外します - 「スパークプラグ」を参照してください。
- スパークプラグを乾かします。
- 燃焼室の換気のため、スターターを数回引っ張りします。
- スパークプラグを再び取り付けます - 「スパークプラグ」を参照してください。
- ストップスイッチを I に移動します。
- チョークレバーを  にセットします。エンジンが冷えている場合も同様です。
- エンジンを再始動します。

燃料タンクが完全に空になった場合

- 再給油したら、手動燃料ポンプに燃料が充填されている場合でも、燃料ポンプを最低 5 回押してください。
- チョークレバーを、エンジン温度に合わせてセットします。
- エンジンを再始動します。

作業中の注意事項

ならし運転

新品の機械は、最初の燃料 3 タンク分の間は、高速回転（無負荷でフルスロットル）で運転しないでください。これですらし運転中の不要な高負荷を避けます。すべての動く部品は、ならし運転中になじんでくるので、この期間はエンジンの摩擦抵抗が大きくなっています。エンジンの最高出力を発揮できるのは、タンク 5 ~ 15 回分の使用後となります。

作業中

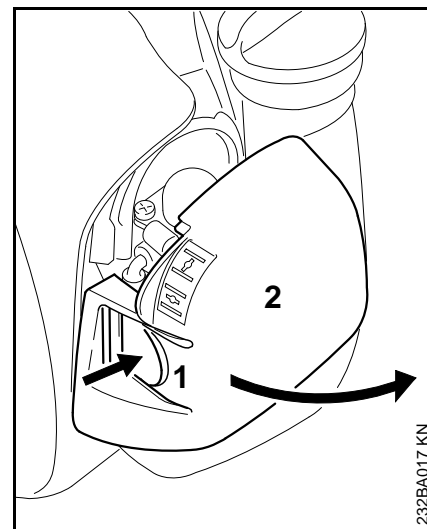
長時間のフルスロットル運転後は、しばらくの間アイドリングしてエンジンの熱を冷却風で放熱してください。組み込まれている部品（イグニッションやキャブレター）を熱から守るためです。


作業後

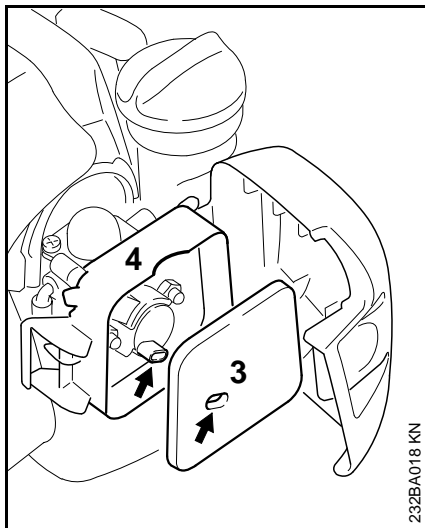
短期間使用しない場合：エンジンが冷えるまで待ちます。燃料タンクを空にして、次の使用時まで火気のない乾燥した状態で保管します。長期間に未使用の場合は、「機械の保管」を参照してください。

エアフィルター掃除

エンジンの出力が著しく低下した場合



- チョークレバーを  にセットします。
- タブ (1) を押し込み、フィルターカバー (2) を下に回します。
- フィルターの周りに付着した汚れを取り除きます。



232BA018 KN

- フェルト エLEMENT (3) をフィルター ハウジング (4) から外し、交換します - 一時的な対処法として手でたたいたり、風を吹き付けて掃除します - 洗浄はしないでください。
- 破損した部品は交換してください。
- フェルト エLEMENT (3) をフィルター ハウジング (4) に取り付けます。
- フィルター カバーを閉じ、正しい位置にかみ合うようにします。

キャブレターの調整

基本情報

キャブレターは工場出荷時に標準設定されています。

この設定で、ほとんどの運転状況で最適な混合気が得られます。

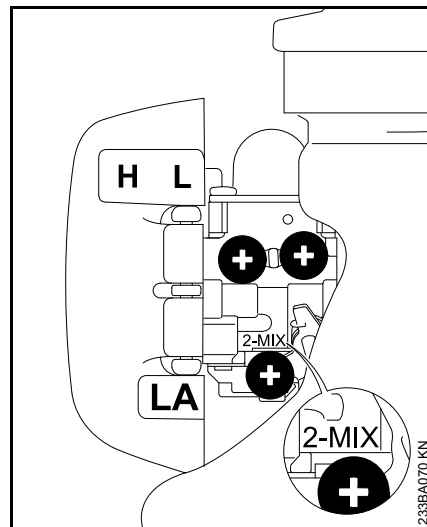
準備

- エンジンを停止します。
- カutting アタッチメントを取り付けます。
- エアー フィルターを点検し、必要な場合は掃除あるいは新品と交換します。

異なる標準設定

工場で異なるキャブレターが取り付けられています。これらのキャブレターは異なる標準設定が必要になります。

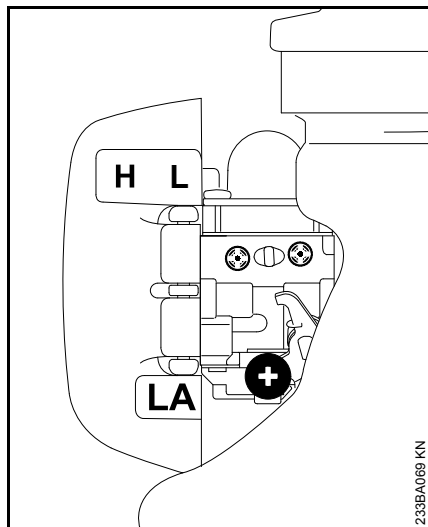
FS 38 2-MIX



233BA070 KN

- 高速調整スクリュー (H) を反時計方向に止まるまで回します (最高でも 3/4 回転)。
- 低速調整スクリュー (L) を時計方向に、その台座に当たるまで慎重に回します。その後、3/4 回転戻します。

FS 38



- 高速調整スクリュー (H) を時計方向に、止まるまで慎重に回します。その後、2 回転戻します。
- 低速調整スクリュー (L) を時計方向に、止まるまで慎重に回します。その後、1 1/2 回転戻します。

アイドリング回転の調整

- 標準設定を行います。
- エンジンをかけて暖機します。

アイドリング回転中にエンジンが停止する

- アイドリングスピード調整スクリュー (LA) を、エンジンがスムーズに作動するまで、時計回りにゆっくりと回します - カutting アタッチメントが回転してはいけません。

アイドリング回転中にカutting アタッチメントが動く場合は

- アイドリングスピード調整スクリュー (LA) を、カutting アタッチメントが停止するまで反時計方向に回した後、さらに 1/2 から 1 回転、同じ方向に回します。



警告

エンジンのアイドリング回転時にカutting アタッチメントが回転し続ける場合、サービス店に点検と修理を依頼してください。

アイドリング回転が不安定で、加速状態が悪い場合は (LA スクリューの設定を修正した後)

アイドリング設定が薄すぎます：

FS 38 2-MIX

- 低速調整スクリュー (L) を最高でも止まるまで、スムーズに作動し滑らかに加速するようになるまで、反時計回りに慎重に回します。

FS 38

- 低速調整スクリュー (L) を、エンジンがスムーズに作動し十分に加速するようになるまで、反時計回りに約 1/4 回転ゆっくりと回します。

アイドリングが不安定な場合は

アイドリング設定が濃すぎます：

FS 38 2-MIX

- 低速調整スクリュー (L) を、エンジンがスムーズに作動して十分に加速するようになるまで、時計回りに止まるまでの範囲でゆっくりと回します。

FS 38

- 低速調整スクリュー (L) を、エンジンがスムーズに作動し十分に加速するようになるまで、時計回りに約 1/4 回転ゆっくりと回します。

低速調整スクリュー (L) を調整する度に、大抵の場合は、アイドリングスピード調整スクリュー (LA) を設定変更する必要があります。

高地で作業する場合の微調整

エンジン性能が充分でない場合は、わずかな調整が必要になる場合があります：

FS 38 2-MIX

- 標準設定を行います。
- エンジンを暖機運転します。
- 高速調整スクリュー (H) を僅かに時計回り (薄くする) に回します - 止まるまでの範囲で回します。

FS 38 2-MIX

- 標準設定を行います。
- エンジンを暖機運転します。
- 高速調整スクリュー (H) を僅かに時計回り (薄くする) に、3/4 回転以内の範囲で回します。



注記

高地から降りてきた後は、キャブレターを標準設定に戻します。

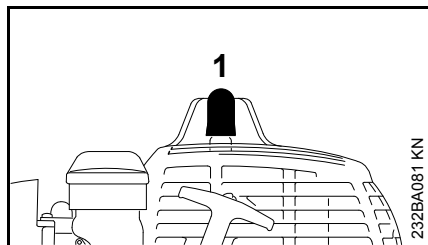
設定を薄くしすぎると、潤滑オイルの不足と過熱により、エンジンが破損する危険があります。

スパーク プラグ

- エンジンの出力が低下したり、始動しにくくなったりアイドリングが不安定になったら、先ずスパークプラグを点検してください。
- 約 100 時間運転後には新品のスパークプラグと交換してください - 電極が極度に焼損している場合はそれよりも早く交換してください。スチール社が承認した、雑音防止スパークプラグのみをご使用ください - 「技術仕様」の項を参照してください。

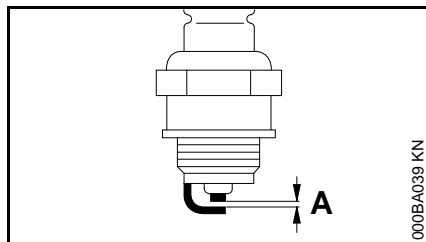
スパークプラグの取り外し

- 停止スイッチを 0 に動かします。



- スパークプラグターミナル (1) を抜き取ります。
- スパークプラグを緩めます。

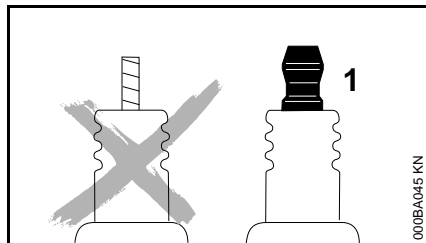
スパークプラグの点検



- 汚れたスパークプラグをきれいにします。
- 電極ギャップ (A) を点検して、必要な場合は調整します - 数値は「技術仕様」の項を参照してください。
- 以下のような、スパークプラグが汚れる原因を排除してください。

原因：

- エンジンオイル混合量の過多
- エアフィルター汚れ
- 劣悪な使用環境



警告

アダプターナット (1) が緩んでいるか、外れている場合はアークが発生することがあります。発火または爆発が起きやすい環境下で作業を行うと、実際の火災または爆発が発生する恐れがあり

ます。この場合、作業員が重傷を負ったり、建物に損傷を与えたりする可能性があります。

- 抵抗入タイプのスパークプラグを使用し、アダプターナットをしっかりと締め付けてください。

スパークプラグの取り付け

- スパークプラグを座位にねじ込み、ターミナルをしっかり押し込んで取り付けます。

エンジンの動作

エア フィルターを掃除してキャブレターを適切に調整しても、エンジンの動作が不十分な場合は、マフラーが原因の可能性があります。

マフラーが汚れていないか (カーボンで詰まる)、スチール サービス店で点検してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。

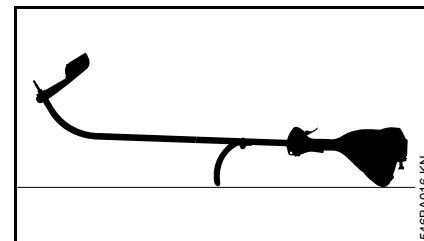
機械の保管

約 3 カ月以上使用しない場合：

- 換気の良い場所で燃料タンクを空にし、洗浄します。
- 燃料は、地域の環境規制条件通りに処理してください。
- エンジンを運転してキャブレター内の燃料を空にしてください - キャブレターのダイヤフラムの固着を防ぐうえで、有効です。
- カutting アタッチメントを取り外し、きれいにして点検してください。
- 機械を丁寧に掃除します - 特にエア フィルターに注意します。
- 機械を乾燥した、安全な場所に保管してください - 子供などによる許可外の使用を避けてください。

カutting ヘッドの保守

パワーツールを地面に置く



- エンジンを停止してください。
- ループ ハンドルを下側に、シュラウドを下方に向けて、出力シャフトを上方向に向けて、刈払機を置きます。

ナイロンラインの交換

必ず草刈ヘッドが摩耗していないか点検してからナイロンラインを交換してください。



警告

摩耗がひどい場合、草刈ヘッド一式を交換してください。

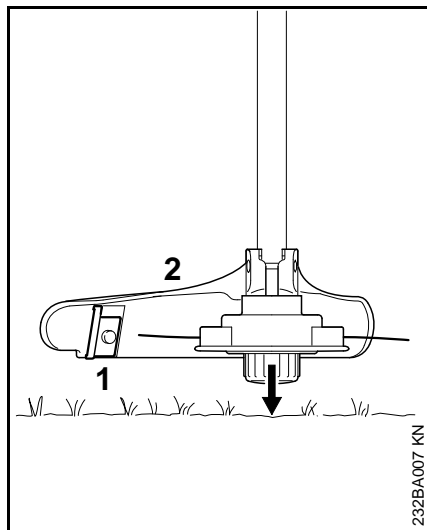
以降では、ナイロンカutting ラインを「ナイロンライン」または「ライン」と呼びます。

草刈ヘッドには、ナイロンラインの交換に関するイラスト付きの説明書が同梱されています。草刈ヘッドの取扱説明書は安全な場所に保管してください。

- 必要に応じて、草刈ヘッドを取り外します。

ナイロンラインの送り出し調整

STIHL オートカット



- 回転する草刈ヘッドを、地面に対して平行に保ちます - 一度地面を軽く叩きます - 新しいナイロンラインが約 3 cm (1.2 in) 送り出されます。
- 余分な長さのナイロンラインは、デフレクター (2) のブレード (1) で最適な長さにカットされます - 本機で繰り返し地面を叩かないでください。

両方のラインの長さが 2.5 cm (1 in) の最低長になるまでは、ラインが送り出されます。

ナイロンラインが 2.5 cm (1 in) 未満になった場合：



警告

ケガをする危険を減らすために、必ずエンジンを停止させてからナイロン製カッティングラインを調整してください。

- 機械を裏返しにします。
- キャップを止まるまでスプールに押し込みます。
- ラインの端をスプールから引き出します。

スプールが空の場合は、ナイロンラインを補充してください。

他のすべての草刈ヘッド

草刈ヘッドに添付されている説明書を参照してください。



警告

ケガをする危険を減らすために、必ずエンジンを停止させてからナイロン製カッティングラインを調整してください。

ナイロンラインの交換

STIHL デュロカット



警告

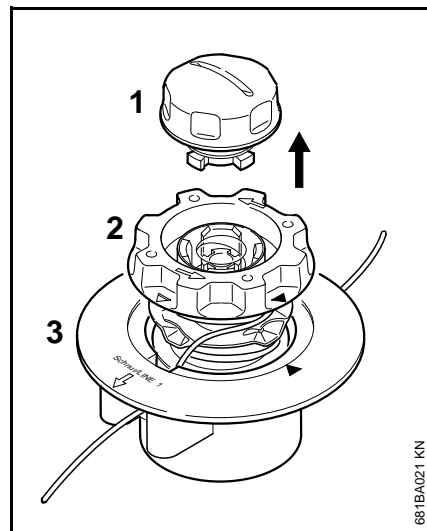
ケガをする危険を減らすために、必ずエンジンを停止させてから草刈ヘッドの詰め替えを行ってください。

- 同梱されている取扱説明書の説明に従い、草刈ヘッドにナイロンラインを取り付けます。

STIHL オートカット C 5-2

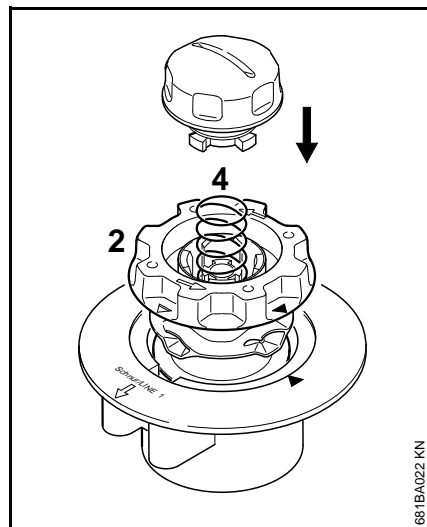
カッティングヘッドの取外しとナイロンラインの残存分の取外し

通常運転の場合、カッティングヘッドのナイロンラインの送り出しをほぼ完全に使い切ります。



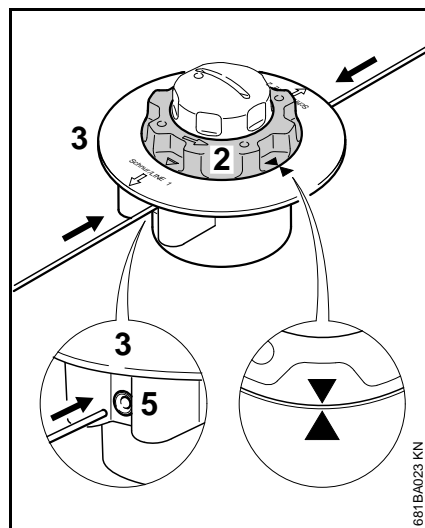
- カッティングヘッドをしっかり保持して、キャップ (1) が外れるまで反時計回りに回します。
- スプール (2) をカッティングヘッド (3) から引き出して、残り部分を外します。

カッティングヘッドの組み立て

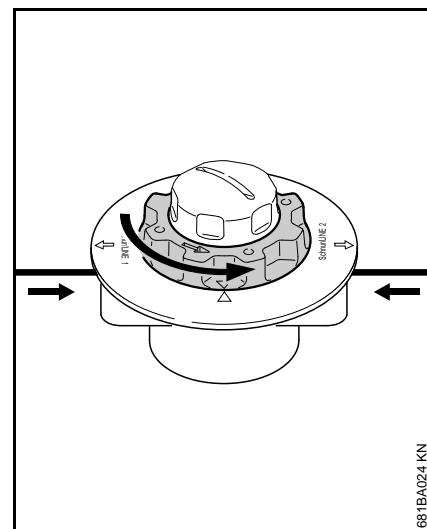


- カッティングヘッドに空のスプールを取り付けます。
- スプリング (4) が飛び出した場合：
- スプール (2) に、カチッと言う音がしてかみ合うまで押し込みます。
 - カッティングヘッドを取り付けます - 「カッティングヘッドの取り付け」を参照してください。

ナイロンラインのスプールへの巻き込み



- 直径 2.0 mm (0.08 インチ) の緑色のナイロンラインを使用してください。
- リールから長さ 2 m (6.6 フィート) のナイロンラインを 2 本切り出します (特殊アクセサリ) の項を参照)。
- スプール (2) を、2 本の矢印の先が揃うまで反時計回りに回します。
- 各ナイロンラインの真直ぐな端を、カッティングヘッド (3) の 1 つのスリーブ (5) を通して手ごたえがあるまで押し込みます - さらに止まるまで押し続けます。

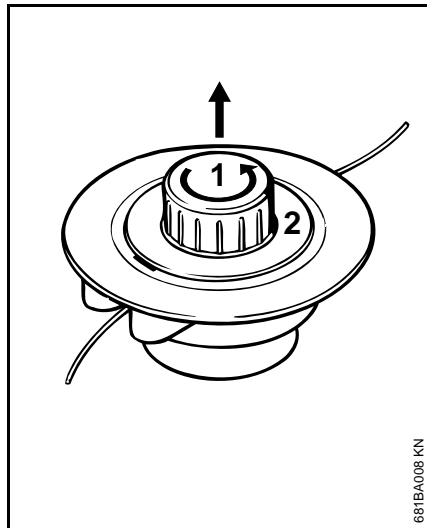


- カッティングヘッドをしっかり保持します。
- 最短のナイロンラインが長さ約 10 cm (4 インチ) になるまで、スプールを反時計回りに回します。
- 必要に応じて、長すぎるナイロンラインを長さ約 10 cm (4 インチ) に切断します。

カッティングヘッドにナイロンラインが取り付けられました。

STIHL オートカット 5-2

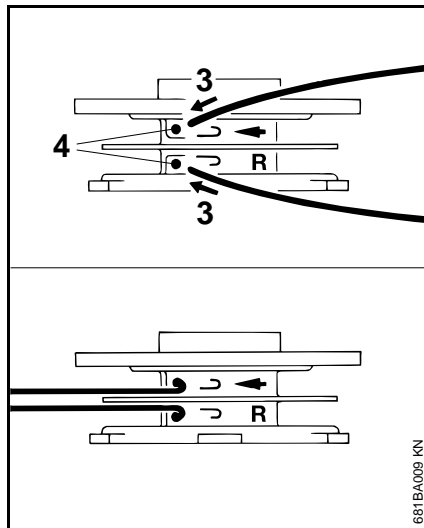
残っているナイロンラインを取り除く



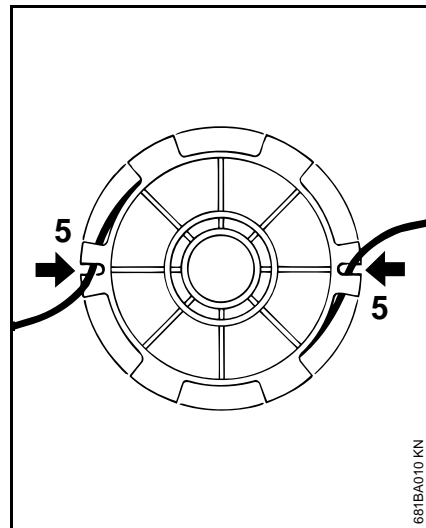
- カuttingヘッドを開ける。片手でしっかりと押さえてキャップ (1) を反時計回りに回します。
- スプール (2) を外してカuttingヘッドから取り出し、残っているナイロンラインを取り除きます。

ナイロンラインのスパールへの巻き込み

ナイロンラインを装備したスパール (特殊アクセサリ) を、以下の手順の代わりに使用できます。



- 直径 2.0 mm (0.08 インチ) の緑色のナイロンラインを使用してください。
- リールから長さ 3 m (9.9 フィート) のナイロンラインを 2 本切り出します (「特殊アクセサリ」の項を参照)。
- 各ラインの端 (3) をスパールの穴 (4) に挿入します。
- 穴の縁部分でラインを強く折り曲げてください。



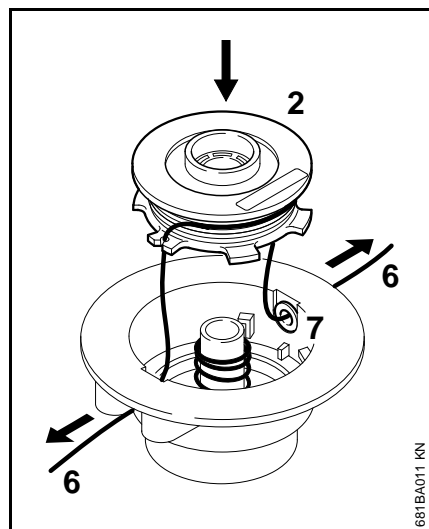
- ラインを整えながらスパールに強く巻き付けます - ラインは各溝に個別に巻き付けてください。
- ナイロンラインの端をノッチ (5) にはめ込みます。

カuttingヘッドの組み立て



注記

スプリングが取り付けられていることを確認してください (「カuttingヘッドの取付け」の項を参照)。



- ライン (6) の端をスリーブ (7) に通し、スプール (2) をヘッドに押し込んで所定の位置にはめ込みます。

スプールを所定の位置に取付けるときに、ラインをノッチ (5) から外してください。

- ラインが止まるまで末端を引っ張ります。
- カutting ヘッドを機械に取り付けます。

カutting ブレードの交換

STIHL ポリカット

新しいカutting ブレードを取り付ける前に、必ずカutting ヘッドが磨耗していないか点検してください。



警告

磨耗がひどい場合、カutting ヘッド一式を交換してください。

以降の部分では、プラスチック カutting ブレードを「ブレード」と呼びます。

カutting ヘッドは、ブレードの交換に関するイラスト付きの説明書が同梱されて納入されます。カutting ヘッドに関する取扱説明書を、安全な場所に保管してください。



警告

ケガの危険を低減するため、ブレードを取り付ける前に必ずエンジンを停止してください。

- カutting ヘッドを取り外します。
- イラスト付き説明書に図示されているようにブレードを交換します。
- カutting ヘッドを再び取り付けます。

スチール販売店による点検と保守

燃料タンク内のピックアップボディ

- 燃料タンクのピックアップボディを毎年交換してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。

整備表

以下の整備周期は通常の作業条件を対象としていることに注意してください。毎日の作業時間が長い場合、あるいは作業条件が悪い場合（非常にほこりの多い場所など）は、それに応じて、提示された間隔よりも短くしてください。		始動前	作業終了後または毎日点検	燃料給油時	毎週	毎月	12ヵ月毎	故障の場合	損傷の場合	必要な場合
機械本体	目視検査（状態と漏れ）	X		X						
	掃除		X							
	損傷した部品は交換してください	X								
コントロール ハンドル	作動検査	X		X						
エアー フィルター	目視検査						X	X		
	掃除							X		X
	交換								X	
手動燃料ポンプ（取り付けられている場合）	点検	X								
	修理は STIHL サービス店に依頼してください ¹⁾								X	
燃料タンク内のピックアップ ポディ	点検はサービス店に依頼してください。 ¹⁾							X		
	交換は STIHL サービス店に依頼してください ¹⁾						X		X	X
燃料タンク	掃除							X		X
キャブレター	アイドルリング調整の点検 - カッティング アタッチメントが回らないこと	X		X						
	アイドルリング回転の調整									X
スパーク プラグ	電極ギャップの調整							X		
	約 100 運転時間ごとに交換									
冷却風吸入部	目視検査		X							
	掃除									X
すべてのスクリューとナット（調整スクリューを除く）	締め直し									X

以下の整備周期は通常の作業条件を対象としていることに注意してください。毎日の作業時間が長い場合、あるいは作業条件が悪い場合（非常にほこりの多い場所など）は、それに応じて、提示された間隔よりも短くしてください。		始動前	作業終了後または毎日点検	燃料給油時	毎週	毎月	12ヵ月毎	故障の場合	損傷の場合	必要な場合
カッティング アタッチメント	目視検査	X		X						
	交換								X	
	カッティング アタッチメントがしっかりと固定されているか	X		X						
安全ラベル	交換								X	

¹⁾ STIHL では STIHL サービス店をお勧めします。

磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書の記述を遵守して使用すると、機械の過度の磨耗や損傷が回避されます。

本機の使用、整備並びに保管は、本取扱説明書の記述に従って入念に行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容及び警告事項に従わずに使用したことに起因する全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：

- スチールが許可していない製品の改造。
- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリーの使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

整備作業

「整備表」に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

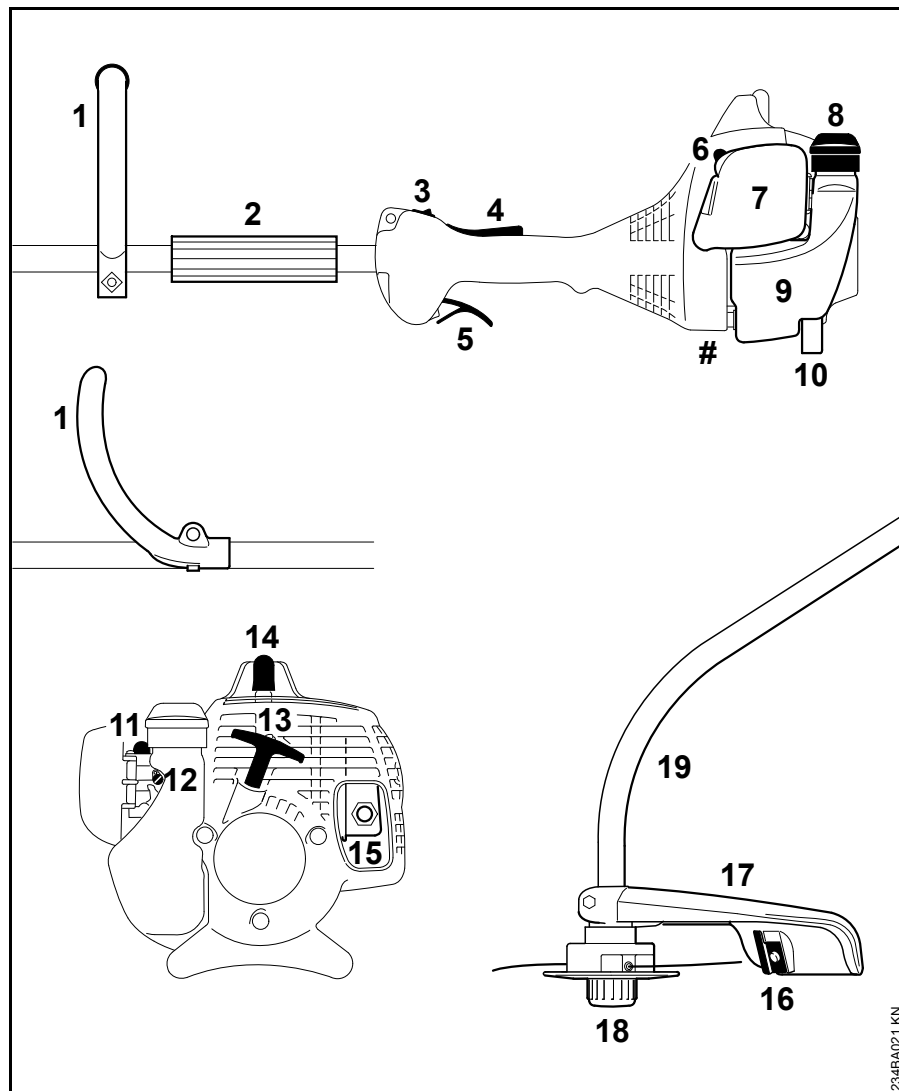
- 指定された時期に実施されなかった整備や不十分な整備（例：エア フィルター、燃料フィルター）、不適切なキャブレターの調整または不十分な冷却空気経路の掃除（エア吸入スリット、シリンダーフィン）が原因で生じたエンジンの損傷。
- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる本機の損傷。

磨耗部品

パワーツールの部品によっては、規定どおりに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- カutting アタッチメント（全種）
- カutting アタッチメント固定用パーツ（ライダープレート、ナット等）
- カutting アタッチメント用デフレクター
- クラッチ
- フィルター（エア フィルター、燃料フィルター）
- リワインド スターター
- スパーク プラグ

主要構成部品



- 1 ループハンドル
- 2 スリーブ
- 3 ストップ スイッチ
- 4 スロットルトリガー ロックアウト
- 5 スロットルトリガー
- 6 チョークレバー
- 7 エアーフィルター カバー
- 8 タンク キャップ
- 9 燃料タンク
- 10 マシン サポート
- 11 手動燃料ポンプ
- 12 キャブレター調整スクリュー
- 13 スターター グリップ
- 14 スパーク プラグ ターミナル
- 15 マフラー
- 16 ライン制限ブレード
- 17 デフレクター
- 18 草刈ヘッド
- 19 ドライブチューブ
- # 機械番号

234BA021 KN

技術仕様

エンジン

単気筒 2 サイクルエンジン

FS 38

排気量：	27.2 cc
シリンダー径：	34 mm
ピストン ストローク：	30 mm
ISO 8893 に準拠したエンジン出力：	0.65 kW (0.9 HP) 8,300 rpm
アイドリング回転数：	2,800 rpm
回転数制御範囲 (定格)：	9,500 rpm
シャフト最高回転数 (カッティング アタッシメント)：	10,400 rpm

FS 38 2-MIX

排気量：	27.2 cc
シリンダー径：	34 mm
ピストン ストローク：	30 mm
ISO 8893 に準拠したエンジン出力：	0.65 kW (0.9 HP) 8,500 rpm
アイドリング回転数：	2,800 rpm
回転数制御範囲 (定格)：	10,000 rpm
シャフト最高回転数 (カッティング アタッシメント)：	10,400 rpm

イグニッション システム

エレクトロニク マグネット イグニッション

スパーク プラグ (抵抗入タイプ)：	Bosch WSR 6 F 、 NGK BPMR 7 A
電極ギャップ：	0.5 mm

燃料システム

燃料ポンプ付き全方向ダイヤフラム式キャブレター

燃料タンク容量： 330 cc (0.33 l)

重量

燃料無しの状態、カッティング アタッシメントとデフレクターを除く

FS 38：	4.1 kg
FS 38 2-MIX：	4.2 kg

音圧・騒音・振動数値

音圧・音響・振動数値には、同じ暴露時間でのアイドリングおよび最高定格回転が含まれます。

振動に関する指令 2002/44/EC の遵守の詳細については、www.stihl.com/vib をご覧ください。

FS 38、FS 38 2-MIX

ISO 22868 に準拠した音圧レベル L_p

94 dB(A)

ISO 22868 による音圧レベル L_w

108 dB(A)

ISO 22867 に準拠した振動加速度

$a_{hv,eq}$

左ハンドル	右ハンドル
8.0 m/s ²	8.0 m/s ²

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルについて 2.5 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s² です。

REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No. 1907/2006 の遵守の詳細については www.stihl.com/reach をご覧ください。


整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

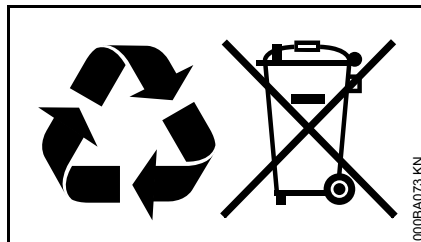
修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL**® ロゴマークおよびスチール部品シンボル マーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

廃棄

国別の廃棄の規則および規制を順守してください。



スチール製品は、家庭用ごみ入れに廃棄しないでください。製品、アクセサリ、包装は、環境に配慮してリサイクルを行うため、認可された廃棄場に持ち込んでください。

廃棄物処理の最新情報については、スチール サービス店へお問い合わせください。

EC 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstr.115
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

製品名： 刈払機
メーカー名： STIHL
型式： FS 38
シリーズ番号： 4140
排気量： 27.2 cc

指令 2006/42/EC、2014/30/EU、および 2000/14/EC の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発および製造されたことを保証いたします：

EN ISO 11806-1、EN 55012、
EN 61000-6-1

音響出力レベルは、測定値並びに確保数値共に、2000/14/EC の補遺条項 V 規定に準拠した ISO 10884 に基づいています。

音響出力レベル測定値

FS 38 : 108 dB(A)

確保される音響出力レベル

FS 38 : 110 dB(A)

技術資料の保管場所：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Produktzulassung

製品の製造年および機械番号は、機械に表示されています。

日本語

Waiblingen にて発行、2016 年 10 月 28
日

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

A handwritten signature in black ink, reading "Thomas Elsner". The signature is fluid and cursive, with the first name "Thomas" and the last name "Elsner" clearly distinguishable.

Thomas Elsner

製品管理およびサービス部長

The CE mark, consisting of the letters "C" and "E" in a stylized, bold font, indicating conformity with European standards.

0458-234-4321-C

japanisch



www.stihl.com



0458-234-4321-C